

授業改善プラン（第3学年）

目指す児童像	自分の考えを持ち、進んで自分の言葉で伝え合う児童	
教科	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン・言語活動の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 漢字の苦手な児童が多い。 音読をしたり、文章を読み取ったりする力に差が大きい。 話の中心に気をつけて最後まで聞くことができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○毎日の家庭学習や、ステップタイムを活用し、学習の方法を身に付けさせていく。 ○家庭学習で協力を仰ぎながら、教室でも様々なパターンの音読を工夫する。また、説明文の段落や物語の場면을意識させながら、叙述にそくして読み取る習慣を身に付ける。 ○「話す・聞く」の場づくりをする。また、話を聞き終わった後、話の中心を確認する場面を多く設ける。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取ることが難しい。 方位を意識して地図を読んだり、実際の方位に合わせたりすることが苦手である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな資料を他教科でも活用し、読み取るポイントを具体的に示すことで資料の使い方、見方に慣れさせていく。 ○方位磁針を使うだけでなく、日常で何回も活用し身に付けられるようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> かけ算九九が未習熟な児童がいる。 課題をとことん追求していくことに慣れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習で協力を仰いだり、ステップタイムを活用して身に付けてさせていく。 ○自分の考えと友達の考えを比較したり、よりよい解法を探していくことの良さを体感できたりするように授業の展開を工夫する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験の様子など、ノートの記録の仕方が未定着である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○問題解決の各場面において、ねらいに合った記述の仕方を示したうえで、上手なノートを児童に紹介して参考にさせる。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌うことが大好きであるが、力まかせの表現になりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容にふさわしい表現ができるよう、歌詞をきれいな声で朗読し、その内容を味わう機会を多くつくる。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 活動に積極的だが、発想が広がらない、題材に集中して取り組むことができない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全体指導を視覚的にわかりやすくし、児童が興味・関心をもてるようにする。 ○友だちの作成中の作品や参考作品、図鑑などを見せることでヒントを与える。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動が好きな児童と嫌いな児童との差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ゲームのルールを工夫して、運動が苦手な児童も楽しめる工夫をする。 ○休み時間の遊びの中で、楽しく運動する経験を多く持たせる。
日常での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを筋道立てて話す事が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○朝の会や帰りの会で、自分の気持ちをみんなの前で発表する機会を多く設ける。 ○5W1Hに気をつけて話す習慣を身に付けさせる。